

## 「ボラみみ」効果でボランティア大活躍! の団体ベスト3

2013年10月号から2014年9月号の紙面でボランティアを募集し、多くの参加者を得て、ボランティアパワーを実感された上位3団体です。



### 素人芸人一座「NPO・なかま」

芸達者な人たちが集い、老人ホームの出前公演などの活動を行っている。また、毎年1月に開催する新春公演で集まった「おひねり」などで、国内外の子どもたちの支援も行っている。今回『ボラみみ』で募集したのは、アジアの子どもたちに届ける絵本に、各国語の訳文が印刷されたシールを貼り付けるボランティア。リピーターも多いそうだ。

DATA 参加人数: 50名 設立: 1996年



### 特定非営利活動法人 スポーツサポート協会

愛・地球博記念公園(モリコロパーク)で「雪まつり」を開催。「冬だからこそ、冬らしく遊ぶ文化を作りたい」という思いからスタートし、2015年で3回目。学生をはじめ、多くのボランティアが運営に携わっている。

DATA 参加人数: 34名 設立: 2006年



### 社会福祉法人 ニコニコハウス

知的障がい者施設と高齢者デイサービスが一緒になった施設。募集したのは地域の方々と共に過ごす夏まつりのボランティア。参加者は、模擬店の売り子、準備や片付けをしたり、利用者と一緒に過ごした。夏まつりだけではなく、11月に開催する秋まつりでも、多くのボランティアが活躍している。

DATA 参加人数: 24名 設立: 1996年

上記の他、無料電話相談「がん 心のケア ほっとライン」を運営する「がん 心のケアの会」、車いすツインバスケットボールに取り組む「KINGS」、視覚障碍の方も映画を楽しめるよう場面説明を行う「視覚障碍者の情報環境を考える会」などの情報にも、多くの問合せ、参加がありました。

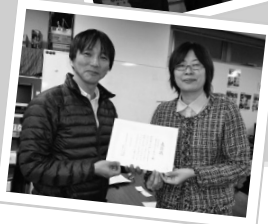
## ひたむきに活動するみなさんへ、ささやかな励みになることを願って。

これまでの15年間の活動の中で、ボラみみ編集チームのスタッフは、取材を通して多くの素晴らしい活動に出会ってきました。どの団体も真摯に社会問題に取り組み、その課題解決に向けてひたむきに活動をしています。スタッフ一人ひとりが出会った団体の中から、特に「これは」という団体を推薦したところ、数十団体の候補が上がりました。どの団体の活動も素晴らしく、社会になくはない活動であるため、選考にはとても苦労しました。最終的には数回に及び投票により選ばれました。団体を知るスタッフにとっては、優劣つけがたく悩みながらの投票であったと思います。このアワードは決して優劣をつけるためのものではありません。厳しい組織運営にさらされるNPOにあっても、地域社会のために、これからも頑張りつづけてほしいと、編集チームスタッフからメールを込めてお贈りしたいと思います。

ボラみみより情報局代表 織田元樹



選考会の様子



# 一人一人の間に育てられ

## 頑張らないでこつこつと

特定非営利活動法人  
ホロス健康センター

〒462-0831  
名古屋市北区城東町7-152-3  
TEL:052-981-2846  
10:00~17:00 祝祭日をのぞく  
FAX:052-981-2588  
E-mail:npo.horosu@gmail.com

執筆者:  
特定非営利活動法人  
ホロス健康センター  
理事長 川崎 嘉子

自然界が常に変化しているように、社会情勢も変化しています。先日、自宅で家族を介護している方の家族会に呼ばれて行ってきました。約20名の方が集まっておられ、それぞれが大きな悩みを抱え、お互いに現在の状況を話していました。奥様の介護を8年間もされている78歳の男性は、本当に心の中したいですと訴えられ、今の介護保険制度の厳しさを実感しました。ほとんどの方が、腰痛、膝痛、肩こりを訴えられたので、少しでもお役に立てばと、その場で、やさしい解消法を皆さんと楽しく学び合いました。

ホロス健康センターでは、8年ほど前から精神的に悩まれている方の相談が増えました。何かお役に立つことはないかと思ひ、南区の沖ヨガ冥想道場で、冬にお鍋を囲んでみんなと一緒に食事をしてみようと「鍋セラピー」を始めました。初めは、みんな黙って何にもしゃべり

ません。これではいけないと、いろいろ考えて、少しアルコールの力を借りてみよう、次回から少しアルコールを出してみました。アルコールの力はすごいですね。それから、ぼつりぼつりと話ができるようになり、悩みを持っている人は自分だけではないということが解ったのでしょうか。お互いに悩みを出し合ったり、相談し合ったりできるようになりました。いろいろなことに気づき、徐々に社会復帰できた方や、まったく違う職業につかれた方、介護施設でボランティアを始められた方、月1回の食セラピーの料理作りに生き甲斐を感じられ、毎回素晴らしい料理を提供して下さる方もいて、どんどん明るい雰囲気になりました。そして新たに参加される方には、ご自分の体験を話したり、よき相談相手になってくださったりと、本当に和気あいあいとした中で少しでも変わっていきけるよう、みんなで支えています。

また、11月3日には「多治見修道院ワインフェスタ」が開催されました。これは、知的障がい者が自立できるようにと、社会福祉法人AJU自立の家が中心になって多治見の修道院で葡萄作りから収穫、醸造まで支援し、年に1度ワインの試飲や販売をするものです。ホロスでは4年前からボランティアで整膚のコーナーを設け、皆さんに喜んでいただいています。午後からはワインを飲まれて来られる方もいますが、そんな方に対しても、健康指導士の養成講座を受けた方は、常に相手の現在の心と体の全体を見ながら対応する姿勢を学んでいます。

今、悩みを抱えておられる方、どなたでもどうぞ遠慮なく参加してみてください。みんなで温かく迎え入れます。北区のホロス健康センターも南区の冥想道場も生命を大切に共に学び合っていきたいと、現代の駆け込み寺のような位置づけになっているのかなと感じています。

いろいろ体験したことを中心に6回も掲載していただき感謝しております。最後までお読みいただき、本当にありがとうございました。



鍋セラピーの様子



多治見修道院ワインフェスタにて

### インフォメーション

第20期健康指導士養成講座の受講生を募集中です。この講座では、ヨガ・整膚・手のひら健康法など、いつでも、どこでも、手軽に活用できる内容が楽しく学べます。途中からの受講も可能です。体験もできます。

日時: 11月16日(日)~2015年4月19日(日)全10回  
毎月第1土曜日・第3日曜日10:00~16:00  
欠席の場合は振替が可能です。

会場: ホロス健康センター  
講座内容等の詳細はお問合せください。